



サロンの様子

人が人間らしく、生き生きと充実した生活を全うするために、自立と社会参加を進め助け合いネットワークを作り、長寿を喜び合える社会づくりを目指します。

サロンのウリ

- ・講演内容に基づきテーマを決め、グループ毎に話し合いを行い、講演内容を身近なものにしています。
- ・サロンで出された意見や感想を記録し、報告書を作成しています。サロン参加者にフィードバックしています。

運営費の確保

会費制（500円/人・回）
外部助成金と関係者からの寄付

助成金よりパワーアップしたこと

福祉カフェの案内チラシを毎回作成・ネット印刷し、広く参加を呼び掛けることができました。

サロンをやってみてよかったこと

参加した一人一人が発言できる場があるので、夫々の置かれた置かれた状況や問題意識を共有ができました。

これから居場所活動をはじめの方へのメッセージ

毎回開始と終わりに福祉カフェのテーマソングを歌います。一緒に声を合わせて歌うと気持ちも一つになります。又、お茶とお菓子を準備し、和める雰囲気を作り出すことも大切です。

令和5年度茨城県社会福祉協議会
はんどちゅんネットワーク運動

NEW 福祉カフェ

終わり良ければすべてよし！ 幸いな老後とは
3年間の休眠を経て、再開します！

第3回 NEW 福祉カフェ Feb.15.2024 NPO アガッペひたち

NEW 第3回福祉カフェ 2024 2.15(木) in 茨キリ・キアラ館アリーナ
くらしを支援するネットワーク
～困ったときのつよ～い味方～

（一社）ライフ・ケア・ひたち 佐藤登喜江氏・吉澤早苗氏

ライフ・ケア・日立は、日立市民として、幸せに生きるため、お互いに支えあって、安心して生活できるよう、女性たちが中心となって考えだ、相互援助グループで、35年間の活動実績がある。有償ボランティアの仕組みを全国に先駆けて取り入れた。

令和4年度の利用者は約1,400名、支援する協力会員200名。公的サービスでは対応しきれない日常生活の援助(産前産後の世話、病院内での世話)、高齢者宅を訪問し、話し相手をするぬくもりサービス、介護保険・障害福祉サービス認定者への訪問サービスなどを行っている。日立市からの委託事業や介護保険事業なども手掛けていて、困ったときには頼りになるネットワーク。

より多くの市民の皆さんの参加を自ざし、受けられるサービスの内容、手続きの仕方、利用する側、支援する側、両方へ広報に努めている。特に、支援する側の協力会員の年齢が高くなっていて、是非、若い会員に活動に加わって欲しい。NEW福祉カフェのネットワークを通して、PRし、活動に参加して下さる方が取れることを期待している。

共に支えられる喜びを次の世代に伝えよう！！



「今すぐできなくても、できるときに、できることを、少しずつ行動してゆきましょう」



◆日時 第1回 10月19日(木) 午後1時～3時

◆テーマ となりびと
「隣人になる
～引きこもり・こころを病む人の居場所作り～」
NPO アガッペひたち 佐藤勲・高橋庸一

◆場所 茨城キリスト教学園 キアラ館アリーナ
車での入場は北門、南駐車場をご利用ください。

◆会費 資料・茶菓代 500円 ◆定員 30名
(茨キリ生は無料)

◆主催 NPO 法人アガッペひたち
共催 茨城キリスト教学園
キリスト教センター

申し込み・お問い合わせ
NPOアガッペひたち
高橋庸一
Tel 080-6638-9895

<予告>

第2回 12月21日(木) 午後1時～3時
「共に生きる 子どもからお年寄りまで、困っている人に寄り添いともに生きていく」
(一社)おかせりホーム 小徳ひかり・木村ひとみ

第3回 2024年2月15日(木) 午後1時～3時
「くらしを支援するネットワーク 困ったときのつよ～い味方」
(一社)ライフ・ケア・ひたち 佐藤登喜江・吉澤早苗

紹介したい人は？ Ag あなたのネットワーク？

① デイサービス施設の職員に 特に、辞めていく人たちに ② ボランティアではなく、有償であることを 知らない人が多い ③ 教員の高齢のご夫妻に	① アガッペひたちのヨロズ生活支援相談 ② 「アルク」相互援助グループに入っている ③ アガッペひたちに助けられている ④ 国際キデオン協会 ⑤ 教会で若い世代と交流する場を持っている
---	--

あったらいいな！ 精神障がい者が一人住まいになった時の生活支援(ヘルパー)